

# 平成23年度放課後子ども教室推進事業の効果及び成果に関する調査結果について

## I 調査概要

### 1 調査目的

県内の放課後子ども教室の実施状況を把握し、事業の効果を検証するとともに、今後の放課後子ども教室の推進を図る。

### 2 調査方法

質問紙による調査

### 3 調査期間

平成23年10月24日（月）から平成23年12月9日（金）

### 4 調査対象

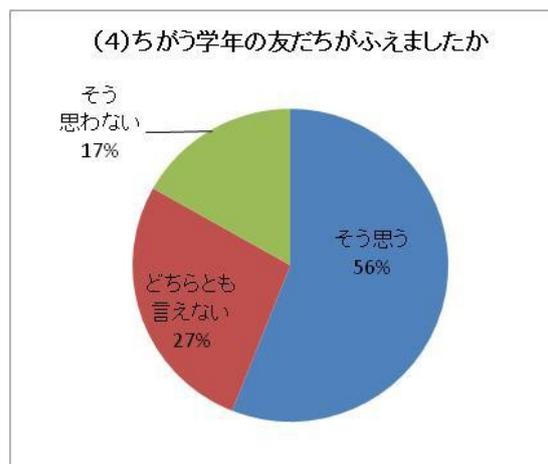
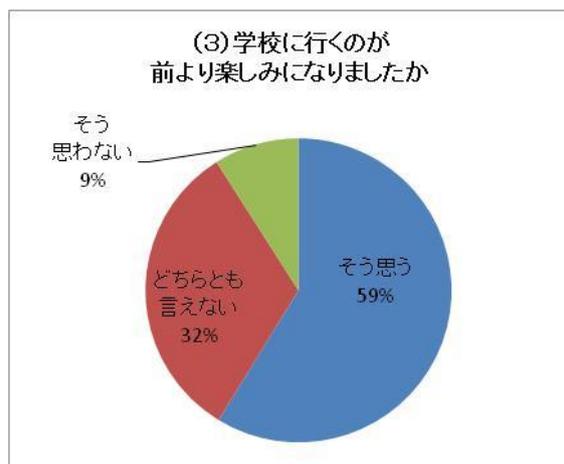
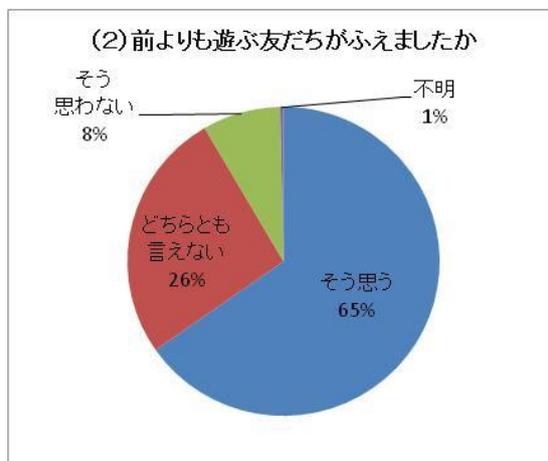
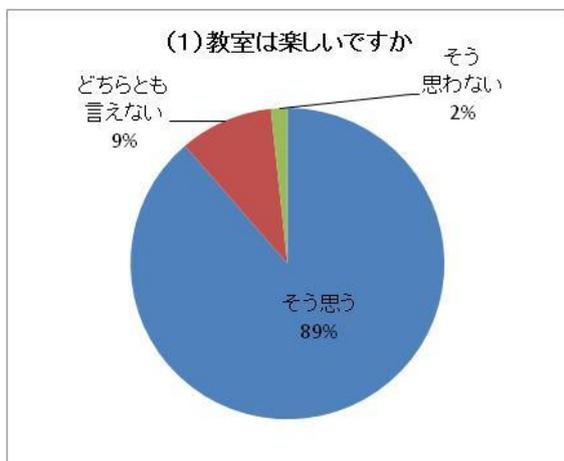
県内放課後子ども教室推進事業実施市町 9市町 22教室

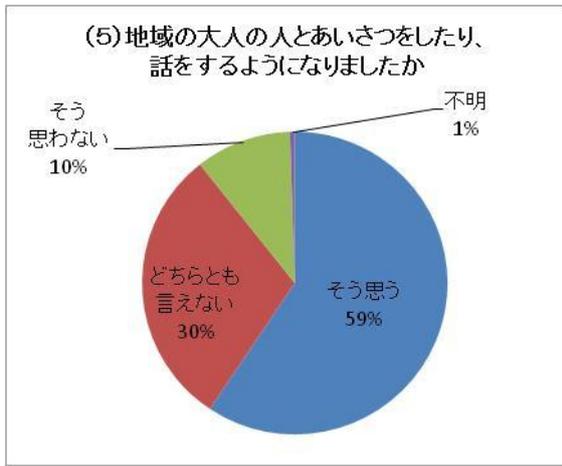
調査1：子ども	591人
調査2：保護者	347人
調査3：安全管理員・学習アドバイザー	188人
<u>調査4：担当者・コーディネーター</u>	<u>21人</u>
合計	1,147人

## II 調査結果

### (1) 調査1：子ども対象

#### 1. 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。





## 2. 放課後子ども教室で楽しみにしていることは何ですか。

### 【人との交流】

- ・友達と遊ぶこと
- ・先生や友達と話をすること
- ・他の学年の人と遊ぶこと
- ・短大生と遊ぶこと
- ・高校生と遊ぶこと
- ・お年寄りの方とのふれあい、交流
- ・みんなと一緒に走ること

### 【外遊び、スポーツなど】

- ・外で遊ぶこと
- ・体育館で遊ぶこと
- ・鬼ごっこ
- ・けいどろ
- ・なわとび
- ・輪投げ
- ・うんてい
- ・ブランコ
- ・ジャングルジム
- ・一輪車
- ・竹馬
- ・卓球
- ・サッカー
- ・キックベース
- ・野球
- ・ドッジボール
- ・ドッジビー
- ・ターゲットゴルフ
- ・グランドゴルフ
- ・バドミントン
- ・バスケットボール
- ・バレーボール
- ・ボーリング
- ・リレー
- ・生き物探し
- ・虫取り

### 【室内での遊び、工作など】

- ・工作
- ・フラワーアレンジメント
- ・エコクラフト
- ・手芸
- ・編み物
- ・ミサンガ作り
- ・リリアン
- ・お絵かき
- ・絵手紙
- ・ビーズ
- ・ぬり絵
- ・写し絵
- ・ブリッジ
- ・UNO
- ・オセロ
- ・トランプ
- ・戦闘カードゲーム
- ・レゴ
- ・ドミノ
- ・積み木
- ・ロボット遊び
- ・粘土遊び
- ・ビデオやDVD
- ・お菓子作り
- ・調理活動（包丁を使わせてもらえるのが楽しみ）

### 【昔遊び、伝統文化活動】

- ・あやとり
- ・おはじき
- ・ベーゴマ
- ・こま遊び
- ・おてだま
- ・かるた
- ・折り紙
- ・将棋
- ・お茶会
- ・生け花

### 【その他】

- ・誕生日会
- ・クリスマスパーティー
- ・お楽しみ会
- ・お店屋さんごっこ
- ・読書
- ・マンガを読む
- ・宿題
- ・英語活動
- ・音楽を聴く
- ・ブラスバンドの練習
- ・おやつ時間
- ・お弁当時間
- ・家や学校にはない遊具で遊ぶこと
- ・行事に参加すること
- ・いろいろ教えてもらえること
- ・ほめてもらえること
- ・いろいろ質問できること
- ・学校で遊ぶ時間が増えること

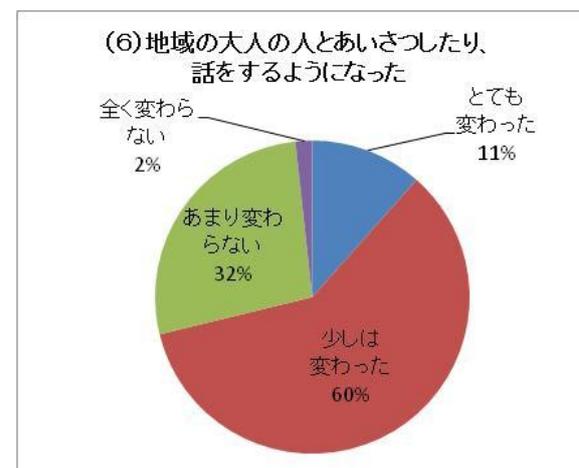
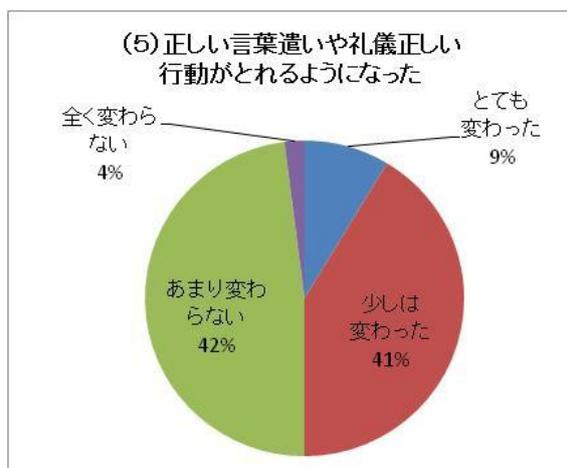
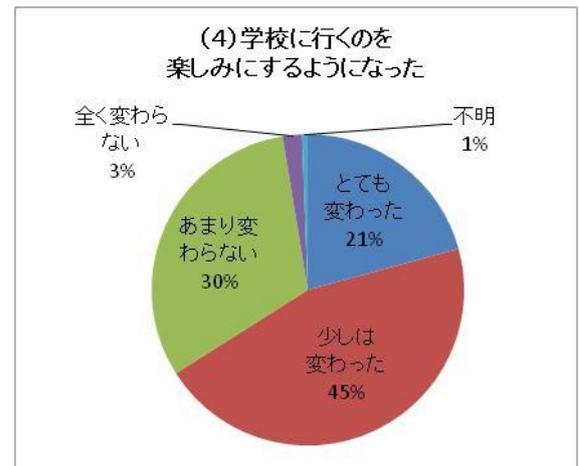
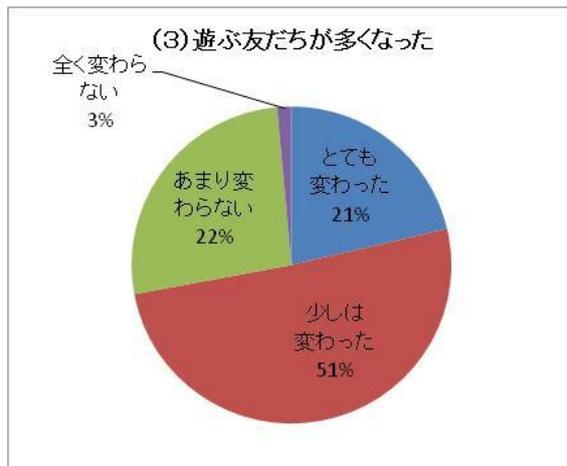
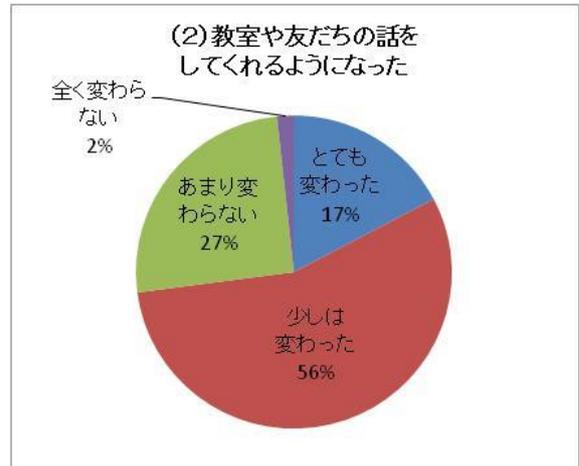
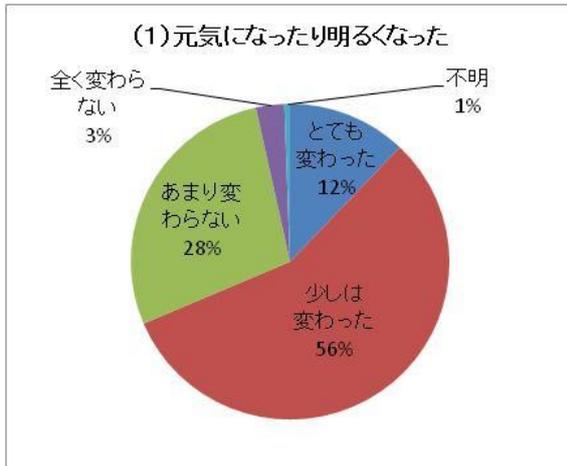
## 3. 教室でやってみたいことは何ですか。

- ・野外活動
- ・蕎麦打ち
- ・弓矢作り
- ・バウムクーヘン作り
- ・餃子作り
- ・点字の絵本作り
- ・マフラー作り
- ・ブーメラン作り
- ・手提げ作り
- ・プール
- ・スポーツ吹き矢
- ・すもう
- ・フライングディスク
- ・ペタンク
- ・フラフープ
- ・バンブーダンス
- ・バルーンアート
- ・フリスビー
- ・おしばな
- ・金魚すくい
- ・シャボン玉遊び
- ・星空ウォッチング
- ・教室の清掃活動
- ・遠足
- ・宿泊体験
- ・演劇発表会
- ・スポーツ系ではない遊びをしたい
- ・いろいろな実験をしたい
- ・お囃子の練習をしてお祭りに出たい
- ・地域のお年寄りに昔話をしてもらいたい
- ・教室に来ている子全員で何かしたい（鬼ごっこ、カルタ、ドッジビーなど）
- ・本当の大会のように、本気で勝負がしてみたい
- ・一万羽鶴を作りたい
- ・何でもやってみたい
- ・いろいろ教えてほしい（サッカー、バスケットボールなど）
- ・今のままでいい

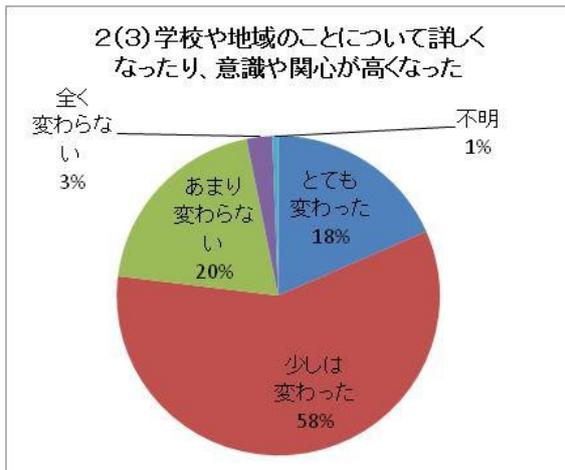
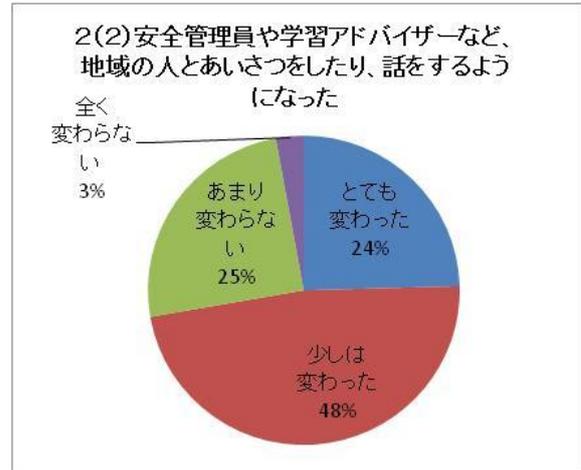
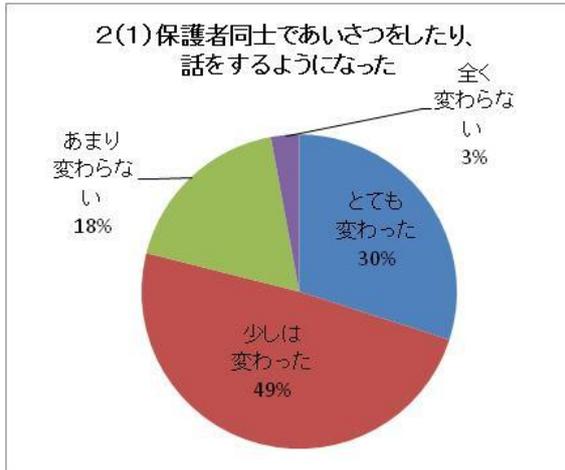
教室に参加している子どもの多くが、教室での活動を楽しみにしていることがわかった。特に、地域のお年寄りや高校生・大学生等のボランティアとの遊びをとおしたふれあいや交流を楽しみにしているようである。また、昔遊びやスポーツ、ものづくり等、学校の授業や家庭では十分な時間をとって教えてもらえないことを教えてもらえることが楽しいとの声が多く聞かれた。教室での活動は、子どもたちの体験や交流活動を効果的に充実させることができると考えられる。

(2) 調査2：保護者対象

1. 放課後子ども教室に子どもを参加させて変容は見られましたか。



2. 放課後子ども教室に子どもを参加させて、あなた自身に変容はありましたか。



(3) 教室の運営について

《成果》

① 子どもの様子、変化等

- ・子どもは楽しく参加しています。教室では、ルールを考えながら、自分の生活の一部として時間を過ごしているようです。
- ・子どもは、学べることを楽しみにしています。
- ・毎回楽しみにしています。他の学校や他の学年の子と遊ぶ機会ができることが、子どもにとって良い経験だと思っています。
- ・子どもは、教室に行くのをとても楽しみにしています。大きく変わったような感じは見られませんが、充実した活動を実施していただき、感謝しています。
- ・今まであまり遊んでいなかった子と遊ぶようになったり、運動能力の向上が見られたりするので、とてもありがたく思っています。
- ・子どもは、教室をとても楽しみにしています。教室がないときはがっかりしています。毎日忙しく、教室のときだけお友だちと遊ぶことができるので、お休みをすることはありません。ボランティアの方とのゲームや編み物など、私が相手をすべきところを助けていただいて、感謝しております。いつも子どもたちは好きな遊びをしているようですが、全員が同じことをする日があってもいいのかなあと思いました。
- ・年齢が同じ友だちだけでなく、年上の子や大人の方と関わることができ、子どもはとても成長しています。
- ・教室に通うようになって、「学校に行きたくない」と言う回数が減ったように思います。
- ・1年生の頃からお世話になっているので、今回のアンケートでは「あまり変わらない」という回答が多くなってしまいましたが、変わらず教室の日を楽しみにしています。
- ・子どもは教室をいつも楽しみにしており、突然なくなってしまうととても残念がります。
- ・習い事をしていて友だちと遊ぶ時間が少ないため、教室のある日は子どもにとって思いっきり遊べる日です。
- ・兄弟ともに教室の日を楽しみにしています。

- ・とても楽しんで教室に行っている子どもを見ると、行かせてよかったと思います。ボランティアさんたちとお話することも楽しいようです。同じ学年の子どもだけでなく、上級生、下級生と遊べることもとても良いと思います。

## ② 活動内容等

- ・イベントや手芸、アイデア料理など、子どもにとって良い刺激となり、本当に楽しませていただいているようです。
- ・長期休業中の活動では毎回ものづくりを行うなど、活動を工夫していただいております。子どもは、作ったものをうれしそうに持って帰ってきます。親としても参考になります。
- ・お茶やフラワーアレンジメントがとても楽しいようです。これからもよろしく願いいたします。
- ・宿題を友だちと一緒にやることができると楽しいと言っています。
- ・あやとりなどを楽しみにしているようです。親として、とても助かっています。
- ・ソーラークッキングを次年度もやってほしいです。
- ・材料費のみで参加でき、幅広い分野でいろいろなことが学べるので、大変ありがたいです。自分の都合で参加を決められることも助かります。
- ・昔遊び等を教えていただき、家庭では経験できない遊びに、子どもはとても喜んでいきます。仕事をしているので、早帰りの日に教室があるととても助かります。
- ・TVやゲームではなく、いろいろな遊びを学校でできるので、とてもありがたいです。
- ・学習活動では、どの授業も楽しく勉強しています。
- ・月に1度のおやつ作りを子どもは楽しみにしています。なるべく参加させたいので、事前に実施日を教えていただくと助かります。
- ・この教室でなければ経験できないものづくりや遊び等を教えていただけるので、子どもにとってとても良い経験になると感謝しています。
- ・子どもが毎週楽しみにしています。2、3年前よりもプログラムが充実しているのがとてもよくわかります。

## ③ 安全管理員、学習アドバイザー、地域ボランティア等

- ・指導の先生方が教室での子どもの様子を報告してくださったり、親としても安心して子どもをお願いすることが出来ます。
- ・子どもの様子を詳しく伝えてくださったり、友達とのかかわりや体のことまで、大変よく子どもを見ていただいております。また、きちんと叱ってくださったり、楽しい行事を企画してくださったり、折り紙や将棋、UNOなどで子どもと一緒に遊んでくださったり、大変感謝しております。子どもが毎日教室の話をしてくれます。ありがとうございます。
- ・子どものことを大変よく見ていただき、感謝しています。
- ・皆さんが楽しそうに子どもたちと接している姿が印象的でした。
- ・いろいろな遊びをしていただいたり、宿題を教えていただいたりするので、親としてはとても助かっています。
- ・みなさんが親切で、子どもの遊ぶ機会が増えて良かったと思います。
- ・たくさんのボランティアの方々の協力により、このような活動が成り立っていることを大変ありがたく思っています。
- ・子どもは、地域の方に遊んでいただけることを楽しみにしています。親としても、異世代の方々とのふれあいは子どもにとって良いことだと感じています。ボランティアの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・学校や家庭でできないことを教えていただいたり、一緒に作成してくださったり、とてもうれしく思っています。

## ④ その他

- ・毎日安心して仕事ができます。感謝しています。
- ・なかなかお手伝いをする機会が持てず、おまかせばかりですが、とても楽しみにしている子どもを見ると、参加させてよかったなと思っています。あいさつ等の指導を厳しくしてくださってもいいと思います。
- ・このような取組はどんどんやってほしいです。
- ・学校から帰ると宿題を終わらせるのに必死で外で遊ぶ時間がありませんが、週に1度の教室のおかげで

楽しくのびのびとできているように思います。

- ・早くお迎えに来てでも駐車場で待っている保護者には、子どもと一緒に遊べるよう声かけをしています。
- ・遊ぶ機会が少ない娘にこのような機会を与えていただき、感謝しています。

## 〈課題〉

### ① 活動内容等

- ・冬になり、日が短くなってきますが、薄暗い中で子どもが外遊びをしていることがあり、ちょっとした段差などが見づらく、危険なのではと思うことがあります。また、子どもの人数把握も難しいのではないのでしょうか。
- ・宿題を終えてから遊ばせてほしいです。
- ・もう少し多くの子もたちが参加するメニューが増えると良いと思います。
- ・他の学年の子どもと遊べる日もあったら良いと思います。
- ・習い事のような内容を充実させてほしいです。
- ・長期休業中は、毎回、調理活動にしてほしいです。
- ・調理やお菓子作りの時は人数が多すぎます。ただ遊ぶだけの日があっても良いと思います。
- ・ドッジボールやおはじきを何グループかの総当たり戦で競うなど、全体でやれるものがあったらいいのではないかと思います。
- ・体を動かすことや、昔遊びも教えてほしいです。
- ・学年が上がるにつれて宿題も増えてきました。宿題をする時間をもう少しとっていただけると助かります。

### ② 運営等

- ・学校や地域の行事等と教室の開催日が重なることが多く、特に夏期休業中は、子どもが参加したくても参加できず、残念そうでした。日程は検討していただけるとありがたいです。
- ・ボランティアの方々の負担が大きくないのかと心配です。
- ・17時くらいまで時間を延長してほしいです。
- ・子どもは徒歩通学をしています。一斉下校の日は安全に帰宅できる日だと思うのですが、教室の日なのでお迎えに行かなくてはなりません。少し抵抗があります。
- ・保護者の当番日に何もやることなく困りました。
- ・長期休業中の午前中に実施していただけると助かります。
- ・冬場も夏と同様の時間で教室をやっていただけるとありがたいです。
- ・働いているとお迎えが難しいので、地区ごとの集団下校にしてほしいです。
- ・冬場の時間がもっと長ければ、4、5、6年生ももっと参加できると思います。

### ③ その他

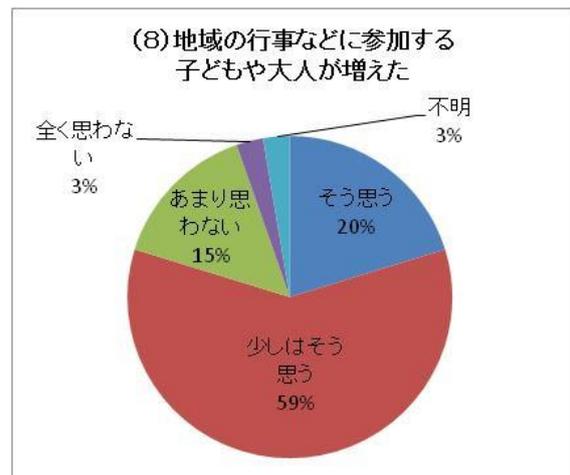
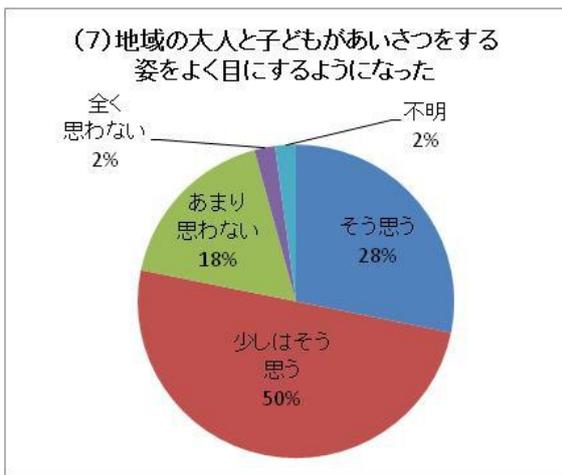
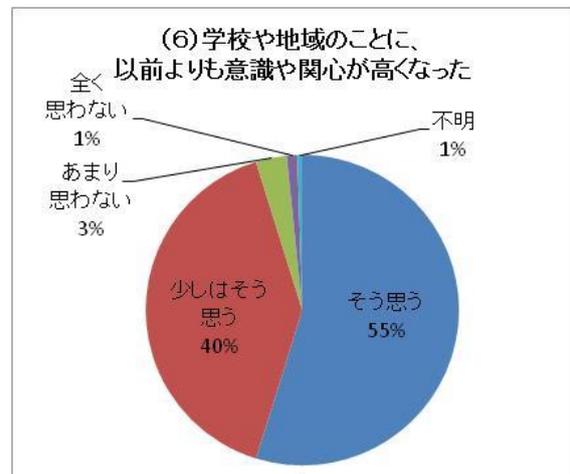
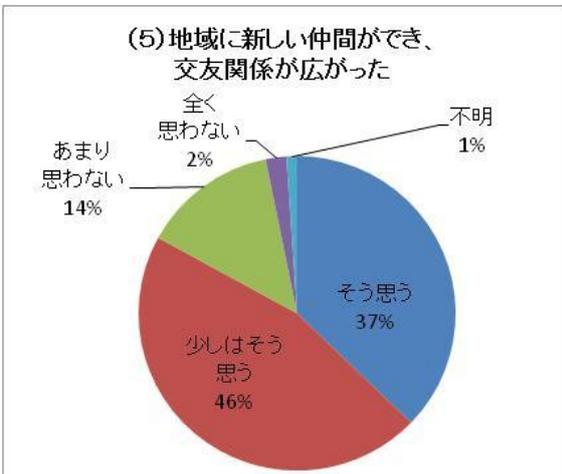
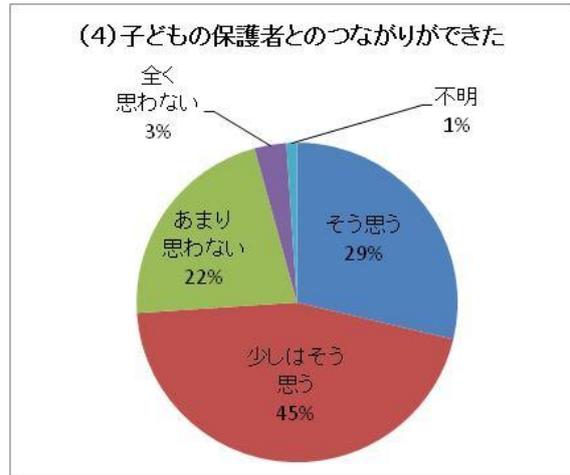
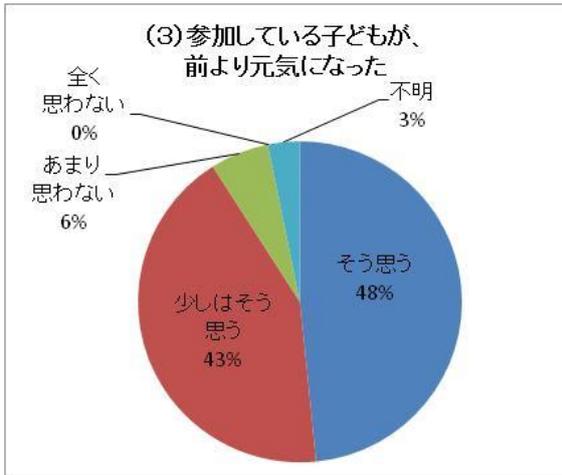
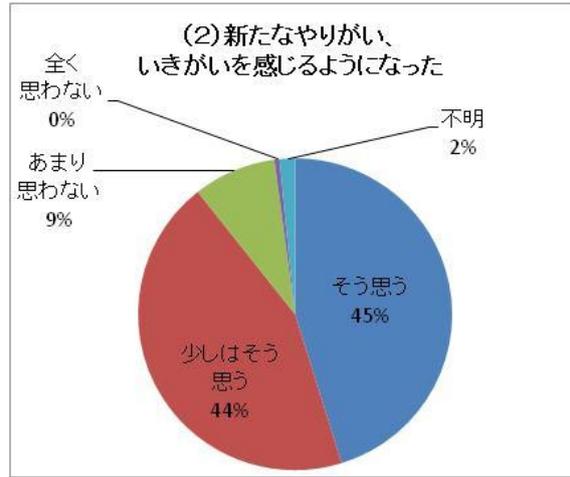
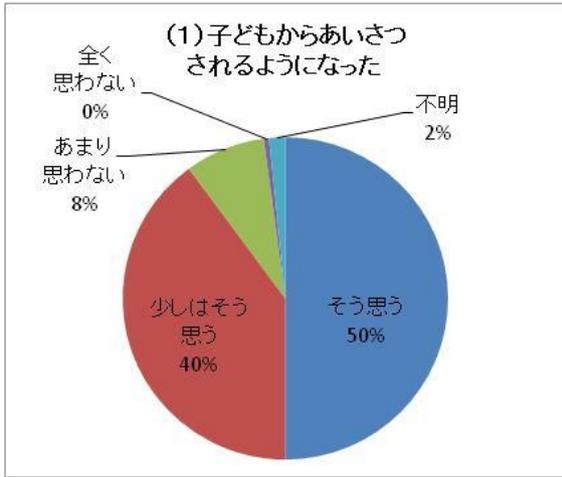
- ・週1回の短い時間なので、子どもの変化はあまり見られません。児童クラブと同じように、毎日子ども教室があると良いと思います。(品川区ではすでに無料でそのような取組をしているようです)
- ・使ったものを片付ける、あいさつをする等、その都度、声かけや御指導くださると嬉しいです。
- ・一斉下校の日に教室があるので難しいのかもしれませんが、同じ学年の子がもっと参加していると、子どもももっと楽しみにできるのではないかと思います。
- ・学童保育の利用者です。子ども教室がある日は、子どもが学童に行く時間が遅くなり、宿題を終わらせることができず、夜自宅ですることになるので大変です。
- ・月に1回でも「今日の様子」みたいなカードをもらえると、もっと身近に感じられるような気がします。
- ・大人も子どもも、もっと声をかけあえたら良いと思います。

保護者は、子ども自身が感じる以上に、子ども教室での活動が子どもに良い影響を与えていることを感じているようである。教室運営にかかわるボランティア等への感謝の言葉が、昨年引き続き多く寄せられた。

また、教室へのお迎えやボランティアとしての参画等をとおして、保護者同士や保護者とボランティアの交流が深められていることもわかった。保護者の学校や地域への関心が高まっていることから、教室への保護者の関わりが学校や地域理解につながるということが考えられる。今後、教室での活動が、地域づくりにつながっていくことが期待される。

(2) 安全管理員、学習アドバイザー対象

1. 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。



## 2. 教室の運営について

### 《子どもの様子》

- ・みんな元気で良い子です。
- ・祖父母の有無にかかわらず、祖父母世代の話を聞くことに興味があるように見えます。
- ・連絡カードを忘れる子が多く見られます。何か罰ゲームを考えたほうがいいでしょうか。
- ・元気があって良いが、ボランティアの言うことをなかなか聞けない子もいます。
- ・通学時に子どもと顔を合わせることが多いが、あいさつされたことはほとんどないです。
- ・子どもたちには異学年の子と遊ぶような雰囲気がありません。身近な親しい友だちとだけ遊んでいるようで残念です。
- ・集団で遊ばずに、スタッフが一人ついて、一人遊びをしている子もいます。
- ・子どもたちは元気すぎるくらいです。宿題をする子も多いですが、せっかくの機会なのでできれば遊ばせたいです。

### 《自分自身》

- ・子どもとの交流活動をする上で必要なことを研修で学び、習得し、伝えていくことが必要だと感じています。研修に多くのスタッフが参加できたら良いと思います。
- ・教室では、異年齢で遊べるところが良いと感じています。自分もたくさんのパワーをもらえるので、できるだけ続けていきたいです。
- ・毎回参加できないことが残念です。子どもたちは毎回顔を見ることで信用してくれると思います。
- ・集団遊びのバリエーションを増やしたいです。
- ・自ら、子どもたち全員にハイタッチをしながらあいさつをしています。子どもたちは、全員があいさつをしてくれます。
- ・活動日が楽しみです。
- ・活動をとおして知り合った方々にサークルなどに誘っていただいたりしており、ありがたいです。
- ・遊びを通じて子どもたちとふれあえることは楽しいです。ボールけりやバドミントンは一緒にできますが、じゃれ遊びには入っていけないので、怪我をしないように見守っています。もっと一緒に遊べるものはないかと考えています。

### 《内容》

- ・これからは国際語としての英語の需要がますます高まります。特に発音等、家庭で教えることが難しい会話の勉強を取り上げてはどうでしょうか。
- ・ニュースポーツを取り入れるなど、内容の充実を図りたい。
- ・子どもたちの協調性を伸ばせるような内容を考えたいです。
- ・子どもは飽きっぽいところがあるので、新しい活動を取り入れたいです。反面、継続して何か一つのことができるなど、工夫していきたいです。
- ・子どもに創作の喜びや達成感を味わってもらえるような内容にしたいです。
- ・子どもたちは好きなことをして遊んでいます。集団で楽しむゲームなどを通じて、チームワーク、リーダーシップ、コミュニケーション能力などが育まれるような内容の検討も必要に感じます。
- ・季節を取り入れた活動をしたいですが、活動時間が1時間くらいしかないため、なかなか実現できません。子どもたちの様子を見ながら、できることをやっていこうと思います。
- ・型にはまらない、自然体の交流が魅力だと思っています。
- ・親子参加型のレクリエーションが楽しそうだなと思っています。
- ・全員でイベントや地域活動に参加したいです。
- ・中学生や高校生と子どもたちがふれあう機会が増えるといいなと思っています。
- ・子どもたちの発表会など、子どもたちが興味のある内容を取り入れていきたいです。

### 《その他》

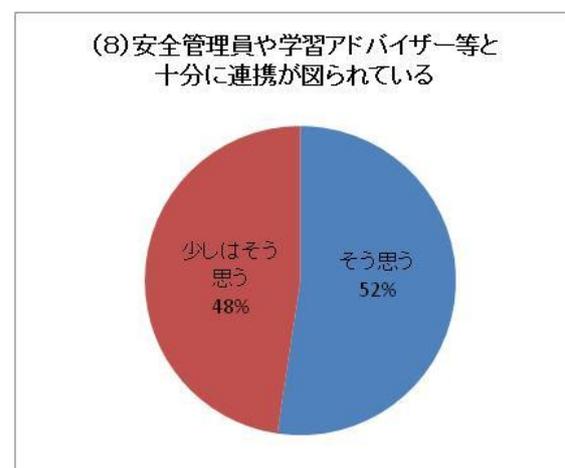
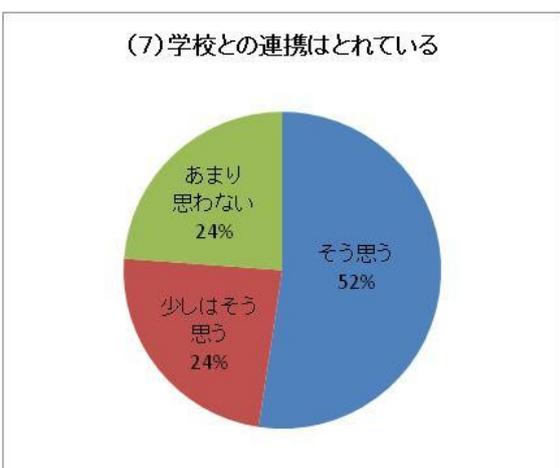
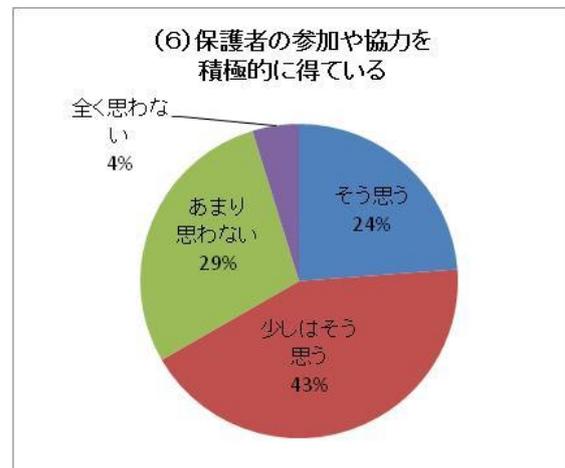
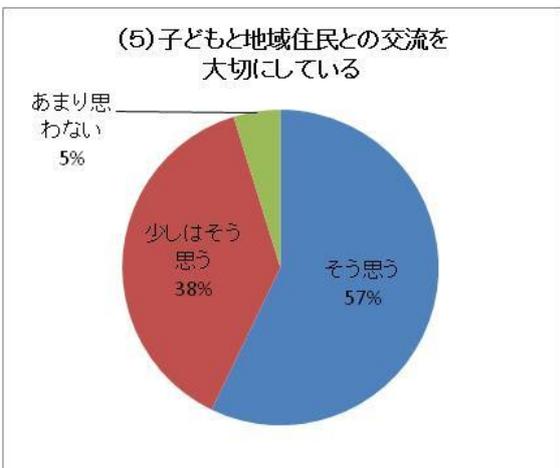
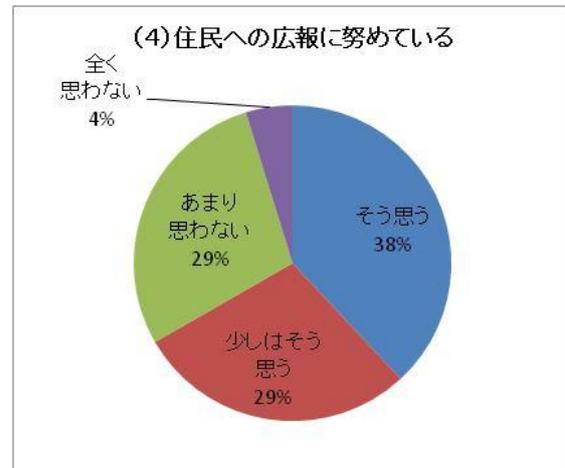
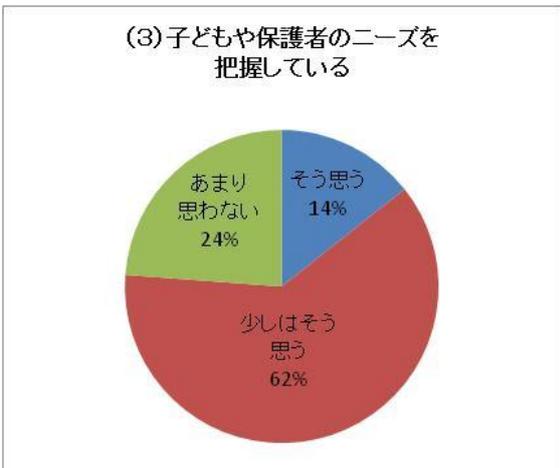
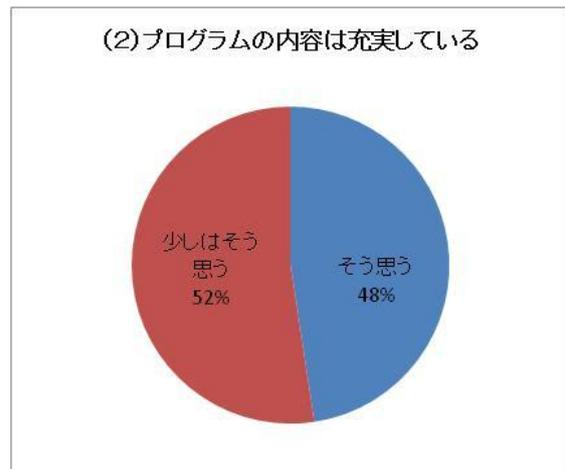
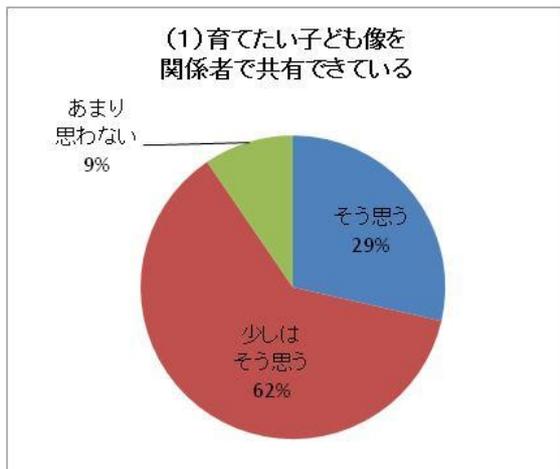
- ・活動の趣旨、目的が不明確だと感じます。
- ・学校、市教育委員会とボランティアの意思疎通がないです。
- ・経費計画がないです。
- ・ボランティア活動らしくない活動となりました。
- ・学校側の理解を深め、もっと多くの子どもたちが参加するようにしたい。
- ・実施回数が少ないと感じます。

- ・「より充実した教室」とはどんな教室なのでしょう。おしつけや独りよがりではまずいと思います。教室に参加する子どもや保護者が何を望んでいるのかがこの調査でわかるでしょうから、それを受けて議論してはいかがでしょうか。
- ・保護者とのあいさつはほとんどないです。
- ・学校で活動しているため、子どもたちは学校の延長とっているようです。ボランティアは地域の大人にお世話になっているという感覚はないのではないのでしょうか。保護者の意識改革も必要だと思います。
- ・年度ごとに登録スタッフの確認をしてほしいです。まったく来ない人の名前を登録しておくのはいかがでしょうか。
- ・スタッフの数が足りません。今の運営状況では、毎回来ているスタッフの負担が重くなってしまいます。スタッフは地域の人だけでなく、PTAからも参加してもらってはいかがでしょうか。
- ・以前から見守り（パトロール）などをとおして子どもたちとの交流がありましたが、子どもたちがあいさつをしないという意見が多くありました。教室で、子どもたちと同じ目線でかかわり、マナーや善悪の判断なども教えていきたいです。親まかせではないという意識を持っていきたいです。
- ・保護者、ボランティア、学校、市教育委員会の話し合いの場がほしいです。
- ・学校の先生にもっと関心を持ってもらいたいです。
- ・ボランティアに緊急連絡やその他の連絡をとれるように、名簿があると助かります。児童の名簿もあるとなお助かります。
- ・アンケートの集計結果をボランティアにもいただきたいです。来年度の活動の参考にしたいです。
- ・PTAが集まる機会に教室のPRがしたいです。
- ・ボランティア仲間や保護者と協力して良い運営ができていますが、ボランティアがあと2、3人いると楽になります。
- ・学校支援ボランティアとの連携を図り、教室の活動日を増やしていくことが、子育て支援につながり、また、子どもの成長にも良いと思います。
- ・週1回の活動なので、もっと子どもたちと向き合える時間がほしいです。
- ・学校側との話し合いが今後もほしいです。
- ・子どもたちがいないところで、一度保護者の本音を聞いてみたいです。
- ・参加する子どもの人数がかなり減ってきているので、学校からの声かけをお願いしたいです。指導者の育成も必要と感じます。
- ・子どものOB、OGがボランティアとして参加してくれると良いと思います。今後も活動を続けてくれる人材が必要だと思います。
- ・活動場所である会議室がぼろぼろなので、直してほしいです。
- ・加湿器がほしいです。冬はインフルエンザや感染症が流行る時期ですので必要だと思います。
- ・子どもへの接し方等にボランティアの考え方の違いがあり、迷うときがあります。
- ・謝金がもう少し高いと良いです。
- ・地域の先生方に教えていただき、より多くの体験・交流活動ができることは、とても有意義なことだと思います。
- ・子どもに名札をつけた方がよいと思います。
- ・子どもと遊べる時間をもう少し増やしたいです。大人の人数も増やす必要があると思います。
- ・今年度の活動では、スタッフの男女比、年代比のバランスが良かったと思います。また、活動の中にイベントを加えたことでより充実した活動ができたと思います。次年度もこのような取組を積極的に行い、子どもたちの笑顔をたくさん見たいです。
- ・学校の協力がもっとほしいです。
- ・資金面でもっと援助がほしいです。
- ・運営委員のつながりをもう少し持てたらと思います。

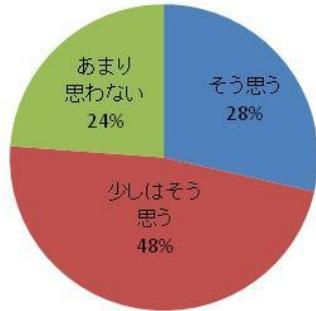
熱意と課題意識を持って子どもたちや教室運営にかかわっているボランティア等の声が多く寄せられた。

また、保護者との交流やボランティア同士の情報交換、学校や教育委員会との連携が不足しているとの意見も多く聞かれた。教室をより良いものとしていくために、今後、ボランティア、保護者、学校等の横のつながりを構築する機会を充実させていく必要があると考えられる。

(3) 調査4：担当者、コーディネーター対象  
1. 放課後子ども教室について

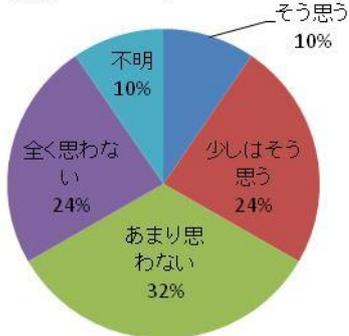


(9)安全に関する情報交換の場  
(学校等との)は十分にとれている

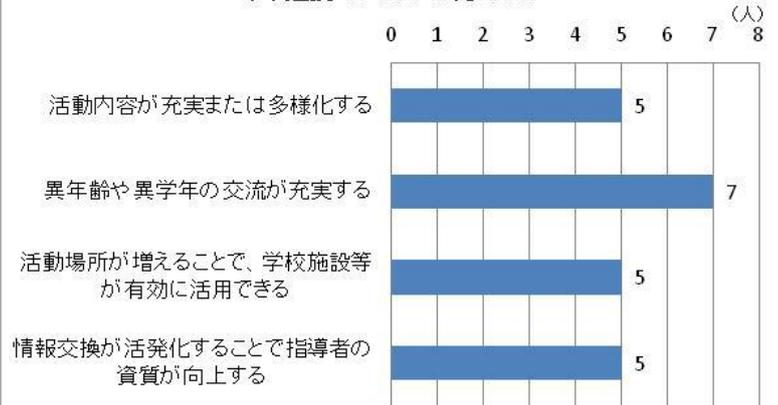


2. 学童保育・児童クラブとの連携について

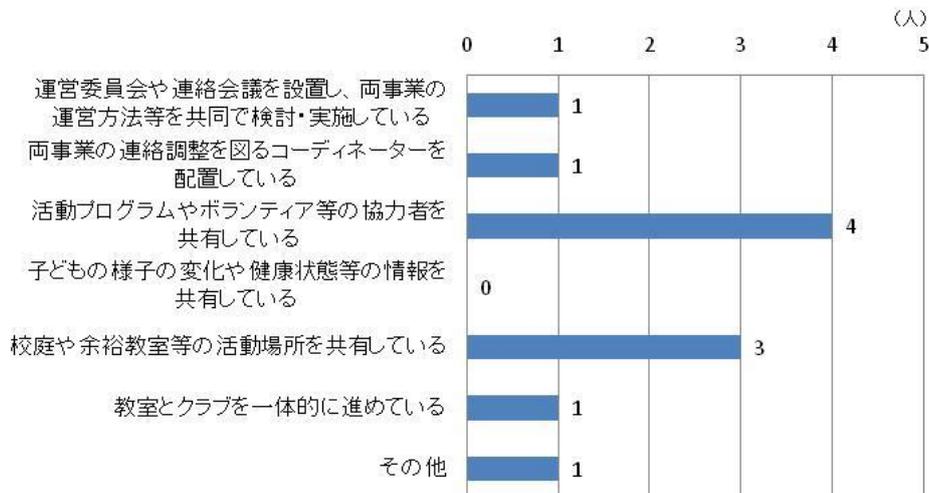
(1)学童保育・児童クラブとの  
連携はうまくとれていますか



(2)連携のメリットは何ですか



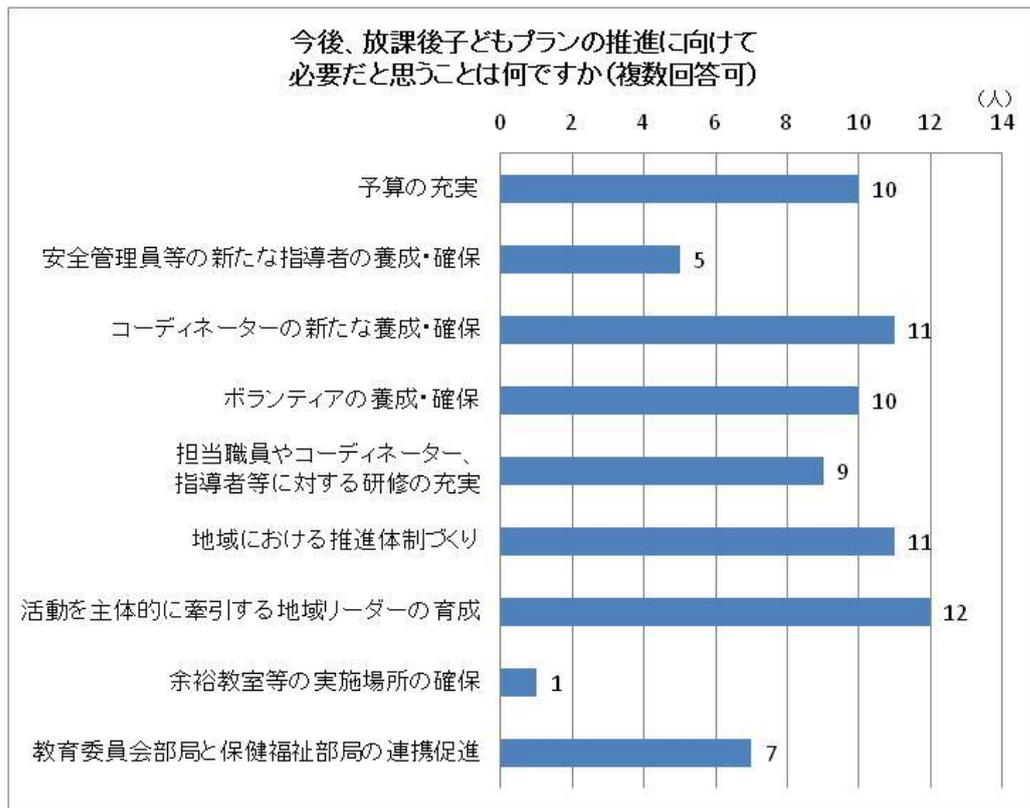
(2)どのような連携を図っていますか



(2)連携を進める上での課題は何ですか(複数回答可)



### 3. 放課後子どもプランを推進する上で必要なこと



### 4. 教室の運営について

- ・コーディネーターとしての仕事内容を明確にしてほしい。
- ・地域に埋もれている指導者等を活用していくこと、地域にあった教室の運営をしていくことを考えると、地域に顔の利くコーディネーター及び協力者が必要と思われます。
- ・まだ教室のない小学校区に、学校の空き教室などを活用して教室を設置したいと思いますが、指導者やコーディネーターになる人材を確保することが困難です。
- ・コーディネーターの後継者を育成することが難しいです。
- ・地域の実情にあった教室を運営していくために、活動資金等の活用がもっと自由であれば、活動の幅も広がり、人材の育成もできるのではないかと思います。また、ボランティアを確保していくためには、地域のほうが学校に興味を持てるような活動をしていくことが大切であると考えています。
- ・学校に、地域全体で子どもを育てていくことをもっと理解してほしいと思います。
- ・ちょっと気になる児童への接し方を学べる機会を充実してほしいです。
- ・どんな人たちがどんな思いで、教室での活動をとおして子どもたちに接しているのかを保護者に説明する機会がありません。教室にもっと保護者が関わってくればと思います。PTAの研修等への参加を促していただければと思います。
- ・補助額をもっと充実してほしいです。
- ・教室のない地域が課題だと思います。

教室運営の中心的な役割を担う地域リーダーやコーディネーター、ボランティアの養成・確保が最も求められていることがわかった。今後も研修の充実を図っていくとともに、広報等による地域や保護者への働きかけをとおして、多くの人々を巻き込んだ教室運営につなげていくことが必要である。